

## 平成30年度生駒市人権施策審議会（第3回）会議録

日 時 平成30年9月26日（水）午後2時～4時  
場 所 生駒市役所401会議室  
出席者 丹羽委員、山崎委員、石倉委員、渋谷委員、石川委員、安田委員、芝下委員、  
中村委員  
欠席者 山田委員  
事務局 奥田市民部長、中田人権施策課長、西川人権施策課長補佐  
（株）名豊 大川主任  
傍聴者 無し

### 【会議の内容】

事務局：＜開会公開の了解＞＜議事録公開＞＜資料確認＞＜録音許可＞＜欠席者報告＞

各委員：＜了解＞

会 長：＜会長挨拶＞

事務局：会議については、「生駒市人権施策審議会規則第5条第1項」により会長が進行。

会 長：案件1(1)人権に関する市民意識調査集計結果について、事務局から説明をお願いする。

事務局：（案件1(1)人権に関する市民意識調査集計結果に係る県調査との比較結果について説明）

会 長：人権侵害の内容で、前回調査と比べて、「誰かに相談した」数値よりも、「だまっていたがまんした」の数値が増えている。これは、その理由として「我慢できる程度の事柄だった」の数値が増えているところからみて、自己責任論が進行しているのではないか。

委 員：女性に関する人権問題で、「男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと」の回答が約60パーセントと大きな数値であり、行政の課題のひとつになっているのではないか。また、特に理解を深めたい人権問題の世帯構成別で、ひとり親と子どもからなる世帯の区分の回答で、労働者の人権の数値が33.3パーセントと突出しており、生活に直結した問題である。

委 員：奈良県の調査は全体的に保守的な感覚だが、生駒市は大阪寄りなためか、働いている人の意識が感じられる。

会 長：「刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で、支える必要がある」について、若年層や高齢者層は「そう思う」の比率が高いが、働いている年齢層の比率は低く、この人たちの面倒をみる余裕がないように思われる。

- 委員：「家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない」については、若い層の賛成が多い。また、「障がいがあることを理由に乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」で「そう思う」の20代の少なさ、「精神に障がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる」で「そう思う」の30代の多さ、「国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチ（差別的な発言）を繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある」で「そう思わない」の20代の多さ、「刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で、支える必要がある」で「そう思わない」の40代の多さが気になった。
- 会長：ひとつの傾向として、人権問題全般への市民の関心は高まっている。また、人権問題が自分の近くで起きていると感じられている。
- 委員：中学生の夏休みの宿題として人権作文があり、人権に対する意識のきっかけ作りになっている。
- 事務局：中学生の人権作文は、法務局から人権擁護委員を通じて中学校に依頼している。
- 委員：アンケートの質問項目で、人権問題について関心のある内容、身近にある人権問題、人権侵害の有無の3段階に分かれているが、回答の選択肢を同じものにするれば、人権問題の身近さがはっきり浮かび上がってきたと思う。
- 会長：人権侵害を受けた人の割合が前回調査よりも4パーセント増えており、市人口当たり約5千人になることから、人権施策を具体化するにあたり、その理由の分析が必要である。
- 会長：人権侵害の内容について、インターネットでの嫌がらせが新規項目で上がっており、その対策が重点項目として必要ではないか。また、人権侵害の性別でみると前回調査に比べて男性の方が女性よりも侵害を受けた割合が増えている。人権尊重の意味では、すべての項目の割合が増加しており、これは人権をより広く捉えるようになってきたという傾向がある。
- 会長：子どもに関する人権問題の「進路選択などで子どもの意思を無視すること」で、ひとり親と子どもからなる世帯の割合が少し高い。
- 会長：高齢者に関する人権問題で、現時点で特に問題があると思われるものについて、「家庭や施設での介護を支援する制度が十分でないこと」の回答では、男性の10代の15.8パーセントに対し、女性の10代では46.2パーセント、男性の20代では31.7パーセントに対し、女性の20代では54.3パーセントと大きな開きがある。これは、女性が切実な問題として自分のことと考えているのに対して、男性は自分のことではないという意識があり、女性は介護というものを意識していることに繋がっているのかも知れない。また、「家族が世話することを避けたり、家族から虐待を受けたりすること」の回答で、男性の30、40代が女性の同年代よりも割合が高いにも関わらず、介護を支援する制度が十分でないことについての意識が低い。市はこれを改善することを念頭に置いて講演会などを企画する必要がある。

会 長：自由記述については、載せ方について検討した方がよい。

会 長：続いて、案件1(2) 具体的な人権課題について、事務局から説明をお願いします。

事務局：(案件1(2) 具体的な人権課題について説明)

会 長：資料2の7ページ以降については、これから作成してもらおう。

事務局：12月に内容を固めて、2月に市の基本計画のパブリックコメントを実施し、3月に策定するスケジュールです。

委 員：数字や文字だけでなく、誰もが見てイメージが伝わるようなグラフなどを付けて欲しい。

事務局：検討します。

会 長：案件2 その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局：①第3回会議録の確認について

②次回審議会の日程については11月15日(木)午前9時30分から市役所401会議室を予定。

会 長：閉会